

平成29年10月31日

関係者各位

学校法人 工藤学園  
理事長 工藤典子

「平成28年度 愛犬美容看護専門学校 自己点検・評価報告書」の公表について

平成28年度の自己点検・評価結果をまとめましたので、公表いたします。

今後は、結果にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## は じ め に

学校法人 工藤学園は1978年（昭和53年）に北海道愛犬美容学園として設立されて以来、トリミングや動物看護師の深い知識と高度な技術を身につけるとともに、ペットを通じて社会に貢献できる人材育成に力を注いでまいりました。

2011年（平成23年）、北海道より認可を受け、学校法人工藤学園「愛犬美容看護専門学校」として生まれ変わり、新たな教育を推進することになりました。

本校では、「人とペットがより良い関係で共存できる社会を目指すために、技術だけでなく、他者への思いやり、挨拶や言葉遣い、コミュニケーション能力など、どの社会でも活躍できる「人間力」を養成することにも心がけ、トリマー、動物看護師としてこれからの時代に必要とされる「オンリーワンの人間」を育てていきます。

今までの実績と信頼を活かし、社会から求められる人材を輩出することを念頭に、より良い人とペットとの暮らしができればと考えております。

なお、本校では、平成28年度の自己点検・評価を行い、関係各位のご意見・ご指導を賜りましたので、職業実践専門課程認可校としてこれからの教育に反映させていきたいと考えております。

今後とも、トリマー・動物看護師育成のために、教職員一同、精進を積み重ねて参る所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月

学 校 法 人 工 藤 学 園

理 事 長 工 藤 典 子

# 平成28年度自己評価と学校関係者評価報告書

## 1. 学校の教育理念・目標

### 【教育理念】

動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心を持ち、動物達と豊かに共生することを旨とする。さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。

### 【教育目標】

- ①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。
- ②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。
- ③職業人としての自立を目指す。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育理念・目標の周知を徹底する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）

### （1）評価項目の達成及び取組状況

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3	3	教育理念・目標はまだ明確にはなっていないと思うので更なるPRをしていきたい。
・ 学校における職業教育の特色は何か	3	3	
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2	2	
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	3	
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	3	

### （2）学校運営

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	3	情報システム化はまだ未整備であるが、システムの導入を検討中であるので業務効率の改善が期待できる。また、企業に対してのコンプライアンス体制に関しては整備を行っているが、対応に不十分な点もあるのかもしれないので、更なる整備の強化を行う。情報公開は適切にされている。
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3	
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3	
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	3	
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3	
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	3	
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3	
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	2	

### （3）教育活動

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	3	関連分野における実践的な職業教育に畜産分野を取り入れるので今後は更なる期待をしたい。教員に対しての研修はプットアウトが必要である。
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	2	
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	2	
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3	
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	3	
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4	
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	2	
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3	
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3	
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	3	
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3	
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	4	

### （4）学修成果

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 就職率の向上が図られているか	3	3	同じ業界でも関わることがあまりないので、卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握し、情報交換の場を設けたい。退学率に関しては低減が図られているので、今後も維持したい。
・ 資格取得率の向上が図られているか	3	4	
・ 退学率の低減が図られているか	4	4	
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	2	
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	2	

## (5) 学生支援

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	経済的支援体制、健康管理を担う組織体制、課外活動に対する支援体制はもう少し明確にすべきである。
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	2	2	
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2	2	
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2	2	
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	2	
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	2	2	
・ 保護者と適切に連携しているか	3	3	
・ 卒業生への支援体制はあるか	3	3	
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	

## (6) 教育環境

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	2	施設・設備の老朽化対策が必要である。防災面は訓練や点検を毎年行っているが、犬を連れての避難等、いろいろな災害を想定する必要がある。
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	
・ 防災に対する体制は整備されているか	3	2	

## (7) 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	3	3	諸費用（資格費用等）をもっと明確化すべきである。
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	4	

## (8) 財務

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	特になし
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	

## (9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	3	アナログ体制のため改善を図る必要がある。また、個人情報の保護は様々なパターンを想定する必要がある。
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2	2	
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3	
・ 自己評価結果を公開しているか	4	4	

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3	大での地域貢献（慰問等）ができないだろうか検討したい。
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	2	
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を実施しているか	2	2	

## (11) 国際交流

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	2	留学生の受入れに関して不安材料があるので、職員の研修が可能であれば行いたい。
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2	2	
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	2	
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	2	

# 学校関係者評価報告書

## 1. 学校関係者評価委員

評価委員	所 属
上 西 陽 介	トリミングサロン Doggy Life
千 葉 直 美	DOG SALON pawprint
佐 藤 蘭 子	えとう動物病院
佐々木可愛美	湯山動物病院

## 2. 委員会開催日時

開催日時：平成29年10月19日(木) 16:00~19:30  
開催場所：愛犬美容看護専門学校

## 3. 委員会次第

- (1) 開 会
- (2) 校長挨拶・委員自己紹介
- (3) 委員長の選出  
評価委員全員の意見で上西陽介氏を委員長に選出した。
- (4) 平成28年度自己点検・評価報告の説明  
学校側で行った自己点検・評価についての説明を行い、今後の課題や問題点について報告した。
- (5) 委員による意見交換  
自己評価報告後、評価委員から改善点や今後の課題について意見をいただいた。

### 1. 評価項目の達成及び取組状況

教育理念・教育目標が策定されたが、認知度はやはりまだまだ低いと思われるのでPRが必要。  
学校の将来構想は教職員しかわからないので、明確化すべきである。

### 2. 学校運営

企業セミナーなどを行っているので、業界としてのコンプライアンス体制はいいのではないだろうかと思うが、不安であれば何が足りないかを再度確認すべきである。  
情報システム化を検討しているので、業務の効率化に期待ができると思う。

### 3. 教育活動

学科別のカリキュラムに関しては、トリマー科・トリマー夜間科は（一社）ジャパンケネルクラブのトリマーライセンス、ハンドラーライセンスを、動物看護科は認定動物看護師資格の取得に沿ったカリキュラムを編成している。その他として、畜産に関するカリキュラムを取り入れるので今後更なる充実が期待できる。  
授業評価は見直しが必要である。しかし、明確化されると怖いものがある。  
成績評価等の判定基準はライフマニュアルに記載しているが、生徒手帳のようにコンパクトになっていると常に確認できるので良いかもしれない。また、ライフマニュアルをアプリ化してはどうだろうか。  
教員研修はブツアウトが必要である。情報共有のために研修後にそのテーマで話し合いをしてはどうだろうか。

### 4. 学修成果

卒業後の状況把握は難しいかもしれないが少しずつ行ってほしい。  
卒業後のキャリア形成の効果の把握は期待したい。独立すると情報交換の場がなくなるので、ぜひその把握したものを活用してほしい。  
就職率は維持してほしいが、卒業後の就職活動のフォローも例年通り続けてほしい。  
資格取得に関しては、教員が資格取得に向けてバックアップを行っており、合格率も維持しており評価が高い。この高い合格率と、動物看護科のトリマーライセンスも取得できる点をもっとPRすべきだと思う。  
退学者の低減が図られつつある点は評価する。

### 5. 学生支援

経済的支援体制、健康管理を担う組織体制、課外活動に対する支援体制は学生のためにもう少し明確にすべきである。

### 6. 教育環境

現在の設備は徐々に老朽化が目立ってきているので改善の検討を始めたほうがいいかもしれない。  
防災に関しては、犬と一緒に避難などさまざまな想定・訓練をすべきである。

### 7. 学生の受入れ募集

学生の募集活動は募集開始時期をきちんと守り行っていると思う。募集内容や入学費用等も案内パンフレットで明記しているが、資格試験等の費用をより明確にすべきである。

### 8. 財 務

学校の財務基盤は予算計画に基づいて作られている。また、予算・収支計画は理事会・評議員会の承認を得ており有効かつ妥当なものとなっている。  
会計監査も監事が適正に監査を行っており、毎年理事会・評議員会に提出している。  
財務情報公開の体制は整備されている。

### 9. 法令等の遵守

個人情報に関しては、在校生、または体験入学生などで説明を行い、対策をとっているが、さまざまなパターンを想定すべきである。

### 10. 社会貢献・地域貢献

公開講座・教育訓練の受入れは積極的にしているが、地域貢献として犬での活動（慰問等）はできないだろうか。

### 11. 国際交流

留学生の受入れを行っているが、手続きに関して教職員の研修が必要かもしれない。  
留学生の就労に関しても認識不足などところがあるので、対応策を検討しなければならない。

### (6) 閉会

今回の貴重なご意見・ご指導を基に、今後は徐々に問題解決・検討を解決していきたい旨を述べ、閉会した。

## 情報公開

### 【1】学校の概要・目標及び計画

- 学校名 愛犬美容看護専門学校 所在地 北海道札幌市中央区南9条西7丁目1番31号  
校長名 工藤 公康

#### ●学校の沿革・歴史

昭和53年4月 北海道愛犬美容学園 開校  
平成21年9月 北海道愛犬美容学園を礎に私立専修学校設置計画書を提出  
平成22年7月 学校法人 工藤学園 設置認可受理  
平成23年4月 愛犬美容看護専門学校 開学  
トリマー科・動物看護科（2年制）、トリマー夜間科（3年制）  
上級学科のトリマー専攻科（1年制）、トリマー高等専攻科（2年制）を設置

（認定校） 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ インターナショナルキャットクラブ  
公益社団法人 日本愛玩動物協会 一般社団法人 日本小動物獣医師会

#### ●学校の特徴

トリマー・動物看護師の養成  
JKCトリマー・ハンドラーライセンス、認定動物看護資格、愛玩動物飼養管理士、キャットグルーマーライセンスの取得を目指す。

#### ●目標及び計画

（教育理念） 動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心を持ち、動物達と豊かに共生することを旨とする。  
さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。  
（教育目標） ①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。  
②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。  
③職業人としての自立を目指す。

#### ●その他諸活動に関する計画

（防災計画） 事務局長を責任者とし火災通報・校内放送・消火活動・生徒誘導・救護等、教職員の役割分担を決め、年1回防災訓練を実施している。

### 【2】各学科の教育（平成29年度）

#### ●定員数・修業年限・在籍数

・トリマー科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年25名 2年21名）
・動物看護科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年21名 2年20名）
・トリマー夜間科	定員20名	修業年限3年	（在籍数 3年1名）
・トリマー専攻科（上級学科）	定員30名	修業年限1年	（在籍数 18名）
・トリマー高等専攻科（上級学科）	定員20名	修業年限2年	（在籍数 1年5名 2年6名）

#### ●カリキュラム

トリマー科 JK C指定のカリキュラムに基づく  
動物看護科 動物看護師国家資格化推進委員会からの教育課程に基づく  
トリマー夜間科 JK C指定のカリキュラムに基づく

#### ●進級・卒業の要件等

学科試験・実習の成績等により判断する。

#### ●取得を目指す資格

JK C公認トリマーライセンス JK C公認ハンドラーライセンス  
認定動物看護師資格 愛玩動物飼養管理士ライセンス  
I C C公認キャットグルーマーライセンス 損害保険募集人一般試験

#### ●資格取得・検定合格等の実績（平成28年度）

JK C公認トリマーライセンス B級82.1%  
JK C公認ハンドラーライセンス C級100%  
認定動物看護師資格 95%  
愛玩動物飼養管理士ライセンス 2級97.3% 1級87.5%  
I C C公認キャットグルーマーライセンス C級100% B級96.6%

#### ●卒業後の進路（平成28年度）

動物病院・ペットショップ等 就職率92.3%

### 【3】教職員

●教職員数	獣医師 7名	JK C公認トリマー教士 3名
	JK C公認A級トリマー 5名	JK C A級トリマー・動物看護師 4名
	JK C B級トリマー・動物看護師 2名	JK C公認B級トリマー 1名
	動物看護師 1名	

#### ●教職員（スタッフ）紹介

当校の入学案内に掲載

#### ●教職員の組織・活動

トリマー部門・動物看護部門により組織される。  
研修の参加、トリマー・動物看護師の普及活動を行う。

【4】キャリア教育等

●キャリア教育への取組状況

企業と連携してキャリア教育の充実を図る。

●実習・実技等の取組状況

企業と連携し、実技・実技等の科目における現場実習（インターシップ）を行い、業務の流れや礼儀などを学び、即戦力をなせる人材を育成する。

●就職支援等への取組状況

社会人の知識を持ち、また資格の取得を前提として、就職斡旋等を行う。

【5】様々な教育活動・教育環境

●学校行事への取組状況

入学式・卒業式	全国トリミング競技会
体育祭	ドッグショー・動物愛護フェスティバルの参加
海外研修	

●地域活動 郊外清掃 等

【6】学生の生活支援

●学生支援への取組状況

学生の健康管理を気をつけ、中途退学者を出さないようコミュニケーションをとり、学生の掌握に努める。  
留学生に対応できる環境づくりを行う。

【7】学生納付金・就学支援

●生徒納付金の取扱い 入学要項・ホームページに記載

●活用できる就学支援措置の内容等

特待生入学免除制度	社会人特待生免除制度
日本学生支援機構 奨学金制度	日本政策金融公庫 国の教育ローン

【8】学校の財務

①平成28年度 資金収支計算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	103,752,834	人件費支出	48,804,458
手数料収入	2,254,290	教育研究経費支出	18,548,185
補助金収入	4,835,940	管理経費支出	33,371,300
資産運用収入	300,000	借入金等利息支出	129,682
事業収入	774,000	借入金等返済支出	5,966,000
雑収入	272,306	設備関係支出	0
借入金等収入	0	設備関係支出	0
前受金収入	57,529,500	資産運用支出	1,166,340
その他の収入	12,184,411	その他の支出	29,093,210
資金収入調整勘定	-66,025,833	資金支出調整勘定	-3,509,671
前年度繰越支払基金	56,517,842	次年度繰越支払基金	38,825,786
収入の部合計	172,395,290	支出の部合計	172,395,290

②平成28年度 貸借対照表（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	136,437,999	固定負債	1,231,000
有形固定資産	128,555,483	長期借入金	1,231,000
土地	70,000,000	流動負債	64,752,307
建物	52,422,040	短期借入金	5,004,000
建物附属設備	4,513,595	未払金	1,809,671
構築物	246,017	前受金	57,529,500
教育研究用機器備品	1,161,016	預り金	409,136
車輛	212,815		
その他の固定資産	7,882,516		
流動資産	54,646,620		
資産の部合計	191,084,619	負債の部合計	65,983,307
基本金の部			
第1号基本金		89,853,013	
基本金の部合計		89,853,013	
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額		35,248,299	
消費収支差額の部合計		35,248,299	
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計		191,084,619	

【9】学校評価

●自己評価・学校関係者評価の結果 ホームページにて公開

●評価結果を踏まえた改善方法 評価結果を基に改善を目指す  
評価結果を基に改善を目指す